

第三者意見・検証報告

信頼性を高めるとともに、社会の期待に応えるレポートとするため、第三者意見・審査をいただきました。

第三者意見



水尾 順一 氏

駿河台大学名誉教授・博士（経営学）
一般社団法人 日本コンプライアンス＆
ガバナンス研究所代表理事／会長

（株）資生堂から、駿河台大学教授・経済研究所長等を経て2018年3月末退職、現在に至る。（株）ダイセル社外監査役。2010年ロンドン大学客員研究員他。著書『サステナブル・カンパニー〜「ずっと」栄える会社の事業構想』（株）宣伝会議など多数。

オカムラグループ（以下、同社）のSustainability Report 2025について、企業で経営倫理の実務を推進し、大学とその後の現・研究所でも理論構築を通じて「CSR/SDGsの理論と実践の融合」を促進してきた立場から、以下に第三者意見を申し述べます。

高く評価できる点：

TNFDの開示など、時代が求める社会的課題に対応し、説明責任を果たす姿勢を知ることができます。

同社は2021年にTCFDへの賛同を表明し、2025年には新たにTNFDへの賛同表明も行い、気候と自然関連の財務情報開示タスクフォース両面から積極的に取り組み説明責任を果たす姿勢を開示しています。

こうした姿勢は様々な成果に結び付き、LEVEL認証やINDOOR ADVANTAGE認証などの第三者認証を通じた同社の環境配慮型製品に対する社内外からの信頼性強化にもつながるとともに、環境とウェルネスを重視するオフィス空間の普及に貢献するとともに国際的にも高い評価を得ていることがうかがえます。

同社のパーパス「人が活きる社会の実現」に向けた「三方良し経営」の実践を知ることができます。

近江商人の経営理念「三方良し」が同社のパーパスと一体化することの重要性を理解することができます。働きがい改革は「売り手良し」に、より良い価値の創造と提供で「買い手良し」を促進し、そしてサステナビリティの推進が「世間良し」を生み出す構造で「三方良し」に結びつきます。しかもその起点は従業員が活きるにつながら「働きがい改革」の実践であり、同社が進めるWiL-BE 2.0の実践そのものということが出来ます。

たとえば、TOPICSの「サステナビリティ研修in富士山・富士事業所」「若手従業員のキャリア育成支援〈Discover商環境〉」「ラインケア・女性のヘルスケア研修」などは、売り手良しで従業員が活きるについて、具体化した取り組みといえます。

さらには当レポートで開示されている「Inner Communication（社内活性）」「Human Development（人財育成）」「Work Rule（制度）」「Work Smart（デジタル技術）」「Work Place（環境）」の5つの具体的アクションは、従業員の〈働きがいの最大化〉を支援する秀逸な取り組みであり、これらが十分に開示されています。

今後に期待する点：

「見える化」「聞ける化」「言える化」を進める企業文化の促進を期待します。

「従業員が活きる」を進めるうえでのキーワードは、何でも自由にモノが言える「オープンな企業文化」の構築です。

そのためには「三猿（さんざる）風土の壁」を打破することです。三猿風土とは、日光東照宮の神厩舎にある三匹の猿「見ざる、聞かざる、言わざる」の彫刻をもとに作った筆者の造語です。組織の中で「見ない、聞かない、言わないという三ざる」がまん延するような状態になると、組織は閉塞状況に陥り、ハラスメントやトラブルが発生する「悪しき企業風土」になりかねません。

三猿風土の悪習を打破するには、逆説的に「見る、聞く、話す」仕組みや企業文化が大切になります。そのためにはリーダーや従業

員自らが、組織全体の雰囲気や状態を、①よく見てお互いの立場を知る「見える化」、②部下や上司さらには仲間たちの話にまずは耳を傾ける「聞ける化」、③その上でオープンなコミュニケーションを心掛け、相互に「言える化」を進めることです。

その結果、お互いに相手の立場を認め合い、気働きができる自由な企業文化が生まれ、結果として活力ある組織へと進化でき、「従業員が活きる」会社になれることはいうまでもありません。売り手良しから会社良しへ、ひいては社会の発展にも結び付くことを心から祈念いたします。

第三者意見を受けて

「オカムラグループ Sustainability Report2025」の発行にあたって、多くの分野のステークホルダーの皆さまより貴重なご意見を多数いただき、それらのご意見を参考にした上で、持続可能な社会の構築に向けた、当社グループの取り組みを報告させていただきました。

水尾先生には、ご専門のお立場から忌憚のないご意見を頂戴し、お礼を申し上げます。

時代が求める社会的課題に対応し、説明責任を果たす姿勢について高く評価いただきました。こうした姿勢が環境配慮型製品など事業活動の信頼性強化に好影響をもたらしているとのご意見を大変ありがたく受け取り、今後の活動の励みにしてまいります。

また、「オープンな企業文化」の構築が重要であり、オカムラのパーパス「人が活きる社会の実現」に向けて、従業員一人ひとりの働きがいの重要性和その基礎となる風通しのよい企業風土の必要性について提起いただきました。それぞれの個を尊重し、認めあい、活かしあうことで、一人ひとりの能力を存分に発揮し、「人が活きる社会の実現」を目指します。

取締役 専務執行役員 佐藤 喜一

第三者検証報告



第三者検証報告（環境データ）

https://www.okamura.co.jp/corporate/sustainability/report/pdf/2025/third_party_opinion_ed.pdf

独立保証報告書

株式会社オカムラ 殿



ビューローベリタスジャパン（以下、ビューローベリタス）は、株式会社オカムラ（以下、オカムラ）の委嘱に基づき、オカムラによって選定されたサステナビリティ情報に対して限定的保証業務を実施した。この保証報告書は、以下に示す業務範囲内に含まれる関連情報に適用される。

選定情報

我々の業務範囲は、「オカムラグループサステナビリティレポート 2025」（以下、レポート）に記載された、2024年4月1日から2025年3月31日までの期間の、以下の情報（‘選定情報’）に対する保証に限定される。

- ・エネルギー使用量
 - ・温室効果ガス排出量
 - スコープ 1 及びスコープ 2 排出量（エネルギー起源 CO₂, CH₄, N₂O, HFC）
 - スコープ 3 排出量（カテゴリー1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 11, 12）
 - ・取水量、排水量、循環利用水量
 - ・産業廃棄物排出量、再資源化量、最終処分量
 - ・SOx/NOx 排出量
 - ・BOD/COD 排出量
 - ・PRTR 対象化学物質（取扱量、排出量、移動量）
- 但し、各データにおける報告範囲はオカムラの決定に基づく。

報告規準

レポート内に含まれる選定情報は、レポートに記載された報告規準と共に読まれ理解される必要がある。

限定と除外

以下に関する情報のいかなる検証も、我々の業務範囲からは除外される。

- ・定められた検証期間の外での活動
- ・‘選定情報’として挙げられていない、レポート内の他の情報

限定的保証は、リスクに基づいて選択されたサステナビリティデータのサンプルと、これに伴う限界に依拠している。この独立報告書は、存在するかもしれないすべての誤り、欠損、虚偽表示を検出するための根拠とされるべきではない。

責任

レポート内の保証の対象とされた情報の作成と提示は、オカムラ単独の責任である。

ビューローベリタスはレポート又は報告規準の作成に関与していない。我々の責任は、以下の通りである。

- ・保証の対象とされた情報が報告規準に準拠して作成されたかどうかについて、限定的保証を行うこと
- ・実施した手続きと入手した証拠に基づいて、独立した結論を形成すること
- ・我々の結論をオカムラに報告すること

Ref: BVJ_25426000



INDEPENDENT ASSURANCE STATEMENT

To: Okamura Corporation



Bureau Veritas Japan Co., Ltd. (Bureau Veritas) has been engaged by Okamura Corporation (Okamura) to provide limited assurance over sustainability information selected by Okamura. This Assurance Statement applies to the related information included within the scope of work described below.

Selected information

The scope of our work was limited to assurance over the following information included within Okamura Group Sustainability Report 2025 (the Report) for the period of April 1, 2024 through March 31, 2025 (the ‘Selected Information’):

- ・ Energy usage
- ・ Greenhouse gas emissions
 - Scope 1 and Scope 2 emissions (CO₂ from energy use, CH₄, N₂O and HFC)
 - Scope 3 emissions (Category 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 11 and 12)
- ・ Water usage, Water discharged and Volume of water used for circulation
- ・ Industrial waste discharged, Waste recycled and Final disposal waste
- ・ SOx/NOx emissions
- ・ BOD/COD emissions
- ・ Japanese PRTR (Pollutant Release and Transfer Register) designated substances (Volume handled, emissions and transfers)

Note: The reporting boundaries for each data are defined by Okamura.

Reporting criteria

The Selected Information included within the Report needs to be read and understood together with the reporting criteria stated in the Report.

Limitations and Exclusions

Excluded from the scope of our work is any verification of information relating to:

- Activities outside the defined verification period;
- Any other information within the Report, which is not listed as the ‘Selected Information’.

This limited assurance engagement relies on a risk based selected sample of sustainability data and the associated limitations that this entails. This independent statement should not be relied upon to detect all errors, omissions or misstatements that may exist.

Responsibilities

This preparation and presentation of the Selected Information in the Report are the sole responsibility of the management of Okamura.

Bureau Veritas was not involved in the drafting of the Report or of the Reporting Criteria. Our responsibilities were to:

Ref: BVJ_25426000





第三者検証報告（社会性データ）

https://www.okamura.co.jp/corporate/sustainability/report/pdf/2025/third_party_opinion_sd.pdf

独立保証報告書

株式会社オカムラ 殿



ビューローベリタスジャパン（以下、ビューローベリタス）は、株式会社オカムラ（以下、オカムラ）の委嘱に基づき、オカムラによって選定されたサステナビリティ情報に対して限定的保証業務を実施した。この保証報告書は、以下に示す業務範囲内に含まれる関連情報に適用される。

選定情報

我々の業務範囲は、オカムラグループ サステナビリティ レポート 2025（以下、レポート）に記載された、2024年4月1日から2025年3月31日（※一部データに関しては2024年3月21日から2025年3月20日）までの期間の以下の情報（「選定情報」）に対する保証に限定される。

オカムラ

- ・男女間の賃金格差（男性の賃金に対する女性の賃金の割合）全従業員_2024年度分
- ・男女間の賃金格差（男性の賃金に対する女性の賃金の割合）正規従業員_2024年度分
- ・男女間の賃金格差（男性の賃金に対する女性の賃金の割合）非正規従業員_2024年度分
- ・育児休業取得率 合計_2024年度分
- ・育児休業取得率 男性_2024年度分
- ・育児休業取得率 女性_2024年度分
- ・従業員のダイバーシティ 男女別管理職比率 男性_2024年度分
- ・従業員のダイバーシティ 男女別管理職比率 女性_2024年度分
- ・障がい者雇用率 雇用障がい者数_2024年分
- ・障がい者雇用率 実雇用率_2024年分

報告規準

レポート内に含まれる選定情報は、レポートに記載された報告規準と共に読まれ理解される必要がある。

限定と除外

以下に関する情報のいかなる検証も、我々の業務範囲からは除外される。

- ・定められた検証期間の外での活動
- ・「選定情報」として挙げられていない、レポート内の他の情報

限定的保証は、リスクに基づいて選択されたサステナビリティデータのサンプルと、これに伴う限界に依拠している。この独立報告書は、存在するかもしれないすべての誤り、欠損、虚偽表示を検出するための根拠とされるべきではない。

責任

レポート内の保証の対象とされた情報の作成と提示は、オカムラ単独の責任である。

ビューローベリタスはレポート又は報告規準の作成に関与していない。我々の責任は、以下の通りである。

- ・保証の対象とされた情報が報告規準に準拠して作成されたかどうかについて、限定的保証を行うこと

Ref: BVJ_25175888



INDEPENDENT ASSURANCE STATEMENT

To: Okamura Corporation



Bureau Veritas Japan Co., Ltd. (Bureau Veritas) has been engaged by Okamura Corporation (Okamura) to provide limited assurance over its sustainability information selected by Okamura. This Assurance Statement applies to the related information included within the scope of work described below.

Selected information

The scope of our work was limited to assurance over the following information included within the Sustainability report 2025 (the report) of Okamura Group for the period of April 1, 2024 through March 31, 2025 (some data is from March 21, 2024 to March 20, 2025) (the 'Selected Information'):

Okamura

- Gender wage gap (ratio of women's wages to men's wages); All employees Fiscal 2024
- Gender wage gap (ratio of women's wages to men's wages); Regular employees Fiscal 2024
- Gender wage gap (ratio of women's wages to men's wages); Non-regular employees Fiscal 2024
- Childcare leave acquisition rate; Total Fiscal 2024
- Childcare leave acquisition rate; Male Fiscal 2024
- Childcare leave acquisition rate; Female Fiscal 2024
- Employee diversity Percentage of managers by gender; Male Fiscal 2024
- Employee diversity Percentage of managers by gender; Female Fiscal 2024
- Employment rate of people with disabilities: Number of employed people with disabilities 2024
- Employment rate of people with disabilities: Actual employment rate 2024

Reporting criteria

The Selected Information included within the report needs to be read and understood together with the reporting criteria stated in the report of Okamura group.

Limitations and Exclusions

Excluded from the scope of our work is any verification of information relating to:

- Activities outside the defined verification period;
- Any other information within the report, which is not listed as the 'Selected Information'.

This limited assurance engagement relies on a risk based selected sample of sustainability data and the associated limitations that this entails. This independent statement should not be relied upon to detect all errors, omissions or misstatements that may exist.

Responsibilities

This preparation and presentation of the Selected Information in the report are the sole responsibility of the management of Okamura.

Bureau Veritas was not involved in the drafting of the report or of the Reporting Criteria. Our responsibilities were to:

Ref: BVJ_25175888

